

日本臨床検査専門医会

平成 24 年度第一回全国幹事会議事録

平成 24 年 1 月 20 日

日本臨床検査専門医会 平成 24 年度第一回全国幹事会議事録

開催日時：平成 24 年 1 月 20 日（金）15 時～17 時 40 分

開催場所：日本臨床検査医学会事務所

出席者：佐守 友博会長、木村 聡副会長、小柴 賢洋副会長、池田 均、
菊池 春人、佐藤 尚武、東條 尚子、米山 彰子各常任幹事、
安東由喜雄、大谷 慎一、小田桐恵美、河野 誠司、北島 勲、
清水 力、諏訪部 章、田窪 孝行、藤原 久美、松永 彰、
三井田 孝、宮地 勇人、村上 純子、盛田 俊介各全国幹事

欠席者：下 正宗、渡邊 卓各常任幹事、尾崎由基男、幸村 近、
杉浦 哲朗、船渡 忠男、日野田裕治、松尾 収二各全国幹事、
高橋 伯夫、土屋 達行各監事

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、佐守 友博会長挨拶、副会長ならびに幹事の自己紹介があった後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣し、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 清水 力、藤原 久美各全国幹事

第二号議案 平成 23 年度会計報告

議長は、平成23年度の会計報告について、その詳細を東條 尚子庶務・会計幹事に説明させた。平成23年度日本臨床検査専門医会会計は、高木 康、水口國雄両監事により平成24年1月17日（火）、収支決算書、会計書帳簿、領収書その他の帳簿につき詳細な監査が行われ、適切に運営されていることを確認したことが報告された。以上より、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、会計報告については、本議事録の末尾に添付する（資料 1）。

第三号議案 第 24 回春季大会について

議長は、第 24 回（平成 26 年度）春季大会の大会長を選任する必要がある旨を述べ、過去の開催順序に鑑み北海道地区が開催候補地域である旨を説明したところ、下記の者を推薦したい旨の発言があったため、議長がその賛否を諮ったところ、満場一致をもってこれに賛成した。よって議長は、下記の者を第 24 回春季大会長とすることに承認可決された旨を宣した。

清水 力 （北海道大学病院検査・輸血部部長）

第四号議案 第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長は、第 58 回日本臨床検査医学会学術集会会期中に開催予定の第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について決定する必要がある旨を述べた。講演内容については、木村聡副会長、村上純子全国幹事、諏訪部章全国幹事で企画立案し、次回幹事会で検討することとなった。

第五号議案 その他

議長は、平成 22 年度にいったん中止とした GLM (good laboratory management) セミナーを再開したい旨を説明し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

報告事項

1. 平成 24・25 年度役員について

佐守 友博会長より、平成 24・25 年度役員について、以下のとおり報告があった。

記

会 長：佐守 友博
副会長：小柴 賢洋、木村 聡
監 事：高橋 伯夫、土屋 達行
常任幹事：池田 均、菊池 春人、佐藤 尚武、下 正宗、東條 尚子、
米山 彰子、渡邊 卓
全国幹事：安東由喜雄、大谷 慎一、尾崎由基男、小田桐恵美、河野 誠司、
北島 勲、幸村 近、清水 力、杉浦 哲朗、諏訪部 章、
田窪 孝行、日野田裕治、藤原 久美、船渡 忠男、松尾 収二、
松永 彰、三井田 孝、宮地 勇人、村上 純子、盛田 俊介

以上

2. 平成 24・25 年度各委員会委員について

佐守 友博会長より、平成 24・25 年度各委員会の委員長ならびに委員について、以下の通り報告があった。平成 23 年度第 3 回常任幹事会で報告した内容と一部変更がある。池田 均情報・出版委員長は平成 21 年度から情報・出版委員を務めており、今年度が 4 年目に当たるが、平成 24・25 年度の委員長を遂行していただく。渉外委員会は、渉外・広報委員会とし、広報活動をより充実させたい。臨床検査振興協議会の理事は、今年度（臨床検査振興協議会の年度は 3 月 31 日まで）は、渡辺 清明前会長に引き続き務めていただくことにした。4 月以降の人事については 3 月の幹事会で承認いただきたい。また、医療政策委員会委員については臨床検査振興協議会の方針が定まらないため未定とする。

委員会活動は活発に行っていきたい。また、各委員会開催時には、会長、副会長、庶務・会計幹事のいずれかが委員会に出席する方針である旨の説明があった。

記

情報・出版委員会

委員長：池田 均
委員：安東由喜雄、海渡 健、清水 力、増田亜希子、宮地 勇人、
盛田 俊介

教育研修委員会

委員長：菊池 春人
委員：今福 裕司、北島 勲、鯉淵 晴美、佐藤 尚武、諏訪部 章、
三井田 孝、山田 俊幸

資格審査・会則改定委員会

委員長：渡邊 卓
委員：河野 誠司、佐藤 尚武、谷 直人、下 正宗、村上 純子
アドバイザー：土屋 達行

渉外・広報委員会

委員長：木村 聡
委員：康 東天、菊池 春人、小柴 賢洋、諏訪部 章、藤原 久美、
船渡 忠男、松永 彰、三井田 孝、
金子 大、岸尾 正則、寺原 一行、山崎 敏治

保険点数委員会

委員長：佐藤 尚武
委員：大谷 慎一、大西 明弘、尾崎由基男、佐守 友博、中谷 中、
米川 修、渡邊眞一郎

専門医数増加方策 WG

委員長：三宅 紀子

委員：上原 由紀、小倉加奈子、金子 誠、木村 聡、鯉淵 晴美、
杉本 一博、東條 尚子、松下 弘道

日本臨床検査医学会 連絡委員：東條 尚子

JCCLS 委員：高木 康

WASP 委員：佐守 友博、伊藤 喜久

内保連委員：佐守 友博、佐藤 尚武

日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会委員：東條 尚子

臨床検査振興協議会

理事：渡辺 清明（3月31日まで）、未定（4月1日以降）

医療政策委員会委員：未定

広報委員会：木村 聡

編集出版委員会：×谷 直人

ホームページ担当：金子 誠（記者）、木村 聡（査閲者）

以上

3. 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

池田 均情報・出版委員長より、LabCP（29巻2号）は発刊が遅れているが、1月中に発刊の見込みである旨報告があった。また、JACLaP Newsの記事として新規の臨床検査専門医に体験記を依頼しているが、適切でない表現を有する場がある旨の報告があった。これに対しては、原稿修正を依頼することで承認された。また、今後は、原稿依頼時に主旨を説明したうえで執筆いただくことで承認された。

盛田 俊介全国幹事より、WIREのカラー化を望む声があるが、どこで検討すべきかとの意見があった。これに対し、佐守友博会長より、経費は発生しないため、情報・出版委員会で検討するよう指示があった。

② 教育研修委員会

菊池 春人委員長より、平成24年度の教育セミナーの開催予定について以下の報告があった。今後の課題として、教育セミナーの講義内容の見直しとともに、実習形式セミナーは開催場所の負担が大きいためローテーション方式等を考えたい。また、専門医取得者のブラッシュアップ教育も考えていきたいとの報告があった。

記

講義形式セミナー

開催日時：平成24年4月29日（日）

開催場所：順天堂大学

実習形式セミナー

開催日時：平成 24 年 5 月 20 日（日）

開催場所：自治医科大学

教育・研修に関して以下の意見があった。

（北島 勲全国幹事）日本専門医制度評価認定機構の研修施設訪問調査が始まっている。研修カリキュラムと各施設の研修プログラムの足並みをそろえる必要がある。その中で、日本臨床検査専門医会がどういう形で教育・研修をサポートするのか、日本臨床検査医学会と協調して統一した構造を見せる必要がある。

（宮地 勇人全国幹事）臨床検査専門医卒後研修カリキュラムはあるが教育に関する情報が共有化されていない。情報の整理が必要である。

（木村 聡副会長）専門医を受験したいが研修する機会がないという声があるので、研修の場を提供できるようにしたい。

③ 資格審査・会則改定委員会

渡邊 卓委員長に代わり、佐守 友博議長より、今回の会長・監事選挙に際し、会則の不備や見直しを要する点があったことから、3月の春季大会時に第一回の委員会を開催し、選挙に関する会則の見直し検討を行う旨の報告があった。

④ 渉外・広報委員会

木村 聡委員長より、以下の報告があった。

広報活動のひとつとして、昨年度、専門医数増加方策検討 WG から提案した、専門医会ホームページに臨床検査専門医のロールモデルを掲載することが承認された。事務局でホームページの掲載容量を拡大するインフラ整備が整ったら、情報・出版委員会と協力して立ち上げていく。また、検査専門医の知名度拡大を目的としたグッズの作成も検討している。7月には、振興セミナーを予定している。

⑤ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長より以下の報告があった。保険点数委員会は従来、日本臨床検査医学会の臨床検査点数委員会と合同で活動をしている。今年度は次期（平成 26 年度）の診療報酬改定に向けて調査を行うことになるであろう。また、平成 24 年 1 月 24 日に内保連例会が予定されている。

4. 第22回春季大会について

大会長の日野田裕治全国幹事に代わり、東條 尚子庶務・会計幹事から、第22回日本臨床検査専門医会春季大会（平成24年3月23日（金）から24日（土））のプログラム（案）の報告があった。

5. 平成23年度第3回第4回臨床検査専門医・管理医審議会報告

東條 尚子庶務・会計幹事より、第3回審議会（平成23年12月17日開催）の報告があった。平成24年度臨床検査専門医認定試験は、平成24年8月4（土）～5日（日）、兵庫医科大学（小柴賢洋試験実行委員長）で実施される。受験者区分2による受験を希望される（報告書提出での措置）場合の、日本臨床検査専門医会が主催するリスクマネジメントに関する講習会の取得単位について、1点とすることが提案され承認された。

6. 平成24年度行事予定について

東條 尚子庶務・会計幹事より、平成24年度の行事予定の説明があった。なお、予定表については、本議事録の末尾に添付する（資料2）。

以下の意見があった。

（宮地 勇人全国幹事）臨床検査専門医は日々多忙に業務を行っているが、適正に評価されない、なかなか後進が入ってこないなどの問題点を抱えている。ロールモデルのホームページ掲載は良い試みである。病院、国民、行政から適正に評価されるような改善の方策立案が必要で、それに向け、切り込んだ議論が必要である。また、うまくいっている所、うまくいっていない所などの情報収集、情報交換を絶えず行う必要がある。

（木村 聡副会長）臨床検査専門医がいないと臨床検査はどれぐらい危険なのかという現状は理解されていない。また、学生には臨床検査専門医の仕事が見えていない。ホームページ掲載にとどまらず、研修医や医学生が購読する月刊誌等に毎月アピールする方法等も考えている。議論もさることながら、臨床検査専門医について理解が得られるような努力を、一人ひとりが積極的に行う必要がある。

（村上 純子全国幹事）良質な臨床検査は「水道の水」に例えられ、なくなると困る。しかし、それが理解されない。

（小柴 賢洋副会長）臨床検査技師に役立つことと、国民に役立つこととは視点が違うので、別々に考える必要がある。

（北島 勲全国幹事）学生に、自身の後ろ姿（仕事）を見せることでも理解が得られる。今後は、学生や研修医への教育が大切だと考えている。

（諏訪部 章全国幹事）昨年震災で被災地医療支援を経験し、震災後の混乱期

には、臨床検査がなくてもある程度の診療ならできることがわかった。しかし、臨床検査ができる環境を整えば臨床医はどんどん検査をオーダーすることもわかった。従って、「臨床検査ではこんなこともできる」という高い視点で臨床検査をアピールすることが重要と思われる。

(小田桐恵美全国幹事) 学生は臨床検査がどのように行われているのかがわかっていない。検査室をみせるような教育が必要と考えている。

(三井田 孝全国幹事) 自身のところで解決できないことは臨床検査専門医のネットワークを利用して解決できるのではないか。

(村上 純子全国幹事) 他職種コメディカル(看護師等)において、検査をもっと知りたいというニーズも多いので、今後検討に加えていただきたい。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 24 年 2 月 13 日

清水 力 _____ 印

平成 24 年 2 月 23 日

藤原 久美 _____ 印

日本臨床検査専門医会 平成23年度会計報告書

平成23年度		項目	予算額	決算額	予算と決算の差	
収 入	会費	会員会費	6,975,000	6,290,000	-685,000	
		賛助会員会費	3,700,000	3,900,000	200,000	
		小計	10,675,000	10,190,000	-485,000	
	その他	広告収入	400,000	1,040,000	640,000	
		教育セミナー参加費	600,000	590,000	-10,000	
		生涯教育講演会参加費		114,000	114,000	
		振興セミナー参加費	100,000	160,000	60,000	
		日本臨床検査医学会補助金	150,000	0	-150,000	
		利息	20,000	8,286	-11,714	
		雑収入	0	11,153	11,153	
		小計	1,270,000	1,923,439	653,439	
入金合計		11,945,000	12,113,439	168,439		
支 出	庶務経費	事務局雑費	150,000	155,358	-5,358	
		通信費(事務局)	170,000	149,351	20,649	
		人件費	1,800,000	1,653,860	146,140	
		FAX使用料	40,000	44,896	-4,896	
		会員登録	10,000	0	10,000	
		事務所維持費	1,542,000	1,567,662	-25,662	
		設備費	150,000	166,470	-16,470	
		小計	3,862,000	3,737,597	124,403	
	事業経費	印刷代	2,200,000	2,065,487	134,513	
		通信費	1,150,000	851,442	298,558	
		春季大会補助金	500,000	500,000	0	
		臨床検査振興セミナー費	850,000	1,076,373	-226,373	
		教育セミナー補助	1,200,000	768,688	131,312	
		生涯教育講演会費		216,600	83,400	
		会議費	1,000,000	1,158,694	-158,694	
		交通費	63,000	60,870	2,130	
		宿泊費	20,000	19,600	400	
		原稿料	40,000	20,315	19,685	
		HP維持費	250,000	206,220	43,780	
		JCCLS会費	50,000	50,000	0	
		WASPALM会費	40,000	33,184	6,816	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0	
		内保連	100,000	100,000	0	
		予備費	320,000	96,000	224,000	
		小計	8,083,000	7,523,473	559,527	
		出金合計		11,945,000	11,261,070	683,930
		収支				
前年度繰越金				13,845,607		
次年度繰越金				14,697,976		

平成24年度 日本臨床検査専門医会 年間行事予定表

日 時	内 容	開 催 場 所	担 当 責 任 者
1月20日（金）15：00～17：30	第1回全国幹事会	日本臨床検査医学会事務所	庶務・会計幹事
3月23日（金）14：30～16：30 16：30～19：00 19：00～21：00	第2回全国幹事会 第2回生涯教育講演会 第22回日本臨床検査専門医会春季大会 懇親会	国際ホテル宇部	庶務・会計幹事 教育研修委員長 日野田裕治教授
3月24日（土）9：25～15：40 13：00～13：30	第22回日本臨床検査専門医会春季大会 第40回日本臨床検査専門医会総会	国際ホテル宇部	日野田裕治教授 庶務・会計幹事
4月29日（日）9：00～17：00	第80回教育セミナー 講義形式セミナー	東京医科歯科大学	教育研修委員長
5月20日（日）9：00～16：00	第81回教育セミナー 実技講習形式セミナー	自治医科大学臨床検査医学	教育研修委員長
6月15日（金）15：00～17：30	第1回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務・会計幹事
7月20日（金）	第29回臨床検査振興セミナー	東京ガーデンパレス	渉外・広報委員長
9月21日（金）15：00～17：30	第2回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務・会計幹事
11月29日（木） ～	第59回日本臨床検査医学会学術集会 第3回全国幹事会	国立京都国際会館	一山 智 教授 庶務・会計幹事
12月2日（日）	第41回日本臨床検査専門医会総会・講演会		庶務・会計幹事
12月21日（金）15：00～17：30	第3回常任幹事会	日本臨床検査専門医会事務局	庶務・会計幹事